20大学入試過去問より

１　次の︱︱線部のカタカナを漢字に直せ。

①　紛争にカイニュウする。 〔　　　〕

②　道路がジュウタイする。 〔　　　〕

③　タンネンに仕上げる。 〔　　　〕

④　破片がヒサンする。 〔　　　〕

⑤　悪政のヘイガイが現れる。 〔　　　〕

⑥　センザイしている能力。 〔　　　〕

⑦　悪条件をコクフクする。 〔　　　〕

⑧　侵入をソシする。 〔　　　〕

⑨　ボランティアをツノる。 〔　　　〕る

⑩　アヤマちを繰り返さない。 〔　　　〕ち

２　次のことわざ、慣用句、故事成語の〔　　〕の語と同じ漢字が当てはまる四字熟語をそれぞれ選び、記号で答えよ。

①　⑴　牛〔　　〕を執る

　　⑵　勘定合って〔　　〕足らず

　　⑶　心頭滅却すれば〔　　〕もまた涼し

　　⑷　〔　　〕で鼻をくくる

ア　弱〔　　〕強食　　イ　馬〔　　〕東風　　ウ　謹厳〔　　〕直

エ　風林〔　　〕山　　オ　一〔　　〕同体　　カ　一紙半〔　　〕

キ　一〔　　〕一草　　ク　傲〔　　〕不遜

　⑴＝（　　　）　　⑵＝（　　　）　　⑶＝（　　　）　　⑷＝（　　　）

②　⑴　労多くして〔　　〕少なし

　　⑵　後〔　　〕畏るべし

　　⑶　前門の〔　　〕後門の

　　⑷　恒産なきものは恒〔　　〕なし

ア　起死回〔　　〕　　イ　温故〔　　〕新　　ウ　〔　　〕視

エ　一〔　　〕一代　　オ　〔　　〕頭蛇尾　　カ　一意専〔　　〕

キ　〔　　〕国強兵　　ク　年〔　　〕序列

　⑴＝（　　　）　　⑵＝（　　　）　　⑶＝（　　　）　　⑷＝（　　　）

３　次の〔　　〕に入る言葉として最も適当なものをそれぞれ選び、記号を○で囲め。

①　（金五十両を置き忘れたことを思い出して）「今は人の物にぞ成りぬらむ。帰りて尋ぬとも〔　　〕」

ア　あらむ　　イ　あらめ　　ウ　あらじ　　エ　あれかし

②　「よし、これゆゑそむく〔　　〕浮き世なりけり」と思ひ立ちて、

ア　べし　　イ　べき　　ウ　べから　　エ　べく

４　次の︱︱線部の意味として最も適当なものをそれぞれ選び、記号を○で囲め。

①　御口鼻より血あえて、やがて消え入りたまひぬ。

ア　そのまま　　イ　夜になって

ウ　翌朝　　　　エ　数日後

②　北の方、「縫はでやしぬらむ。」とてうしろめたう、…のぞけば、少納言なし。

ア　後悔して　　　　イ　やましくて

ウ　気がとがめて　　エ　気がかりで

③　この坊に住む人、あるいは病を受け、またはものにかれ、さらに住む人なし。

ア　それ以上に住む人はいない

イ　そのように住む人はいない

ウ　まったく住む人はいない

エ　まっさらな土地に住む人はいない

④　いと心かしこくかどかどしくおはして、…

ア　角張ったところがおありで

イ　細々と気遣いをなされる方で

ウ　才気だっておられて

エ　無理をなさるところがあって

５　次の①～③の説明に当てはまるものをそれぞれ選び、記号を○で囲め。

　①　次の―線部と文法的に同じ種類の「り」。

　異議なくし、即ちの殿にのぞめり。

　　ア　いみじう心まうけさせたまへり。

　　イ　奥の方より、「何事ぞ」といらふる声すなり。

　　ウ　すだれ少し上げて、花奉るめり。

　　エ　も取り返したる馬をばにうち預けてにけり。

　②　次の―線部のうち意味が異なるもの。

　ア　湯水吸わす

　イ　魚食はせず

　ウ　かへりてほしげにす

　エ　庭掃かせ

　③　「我ばかりは物思はしきはなきなめりと、うらやましう思ひわたされたまふ」の「な」と文法的用法が同じもの。

　ア　男、いなむとしければ、女、読みいだしたり。

　イ　夕暮れのは山と見えななむ夜は越えじと宿りとるべく

　ウ　さぶらふ人も、いみじうやすき息災の祈りななりなど言ふ。

　エ　もののあはれも知らずなりゆくなむ、あさましき。

【解答】

１　①介入　②渋滞　③丹念　④飛散　　⑤弊害

　　⑥潜在　⑦克服　⑧阻止　⑨募〔る〕　⑩過〔ち〕

２　①⑴＝イ　⑵＝カ　⑶＝エ　⑷＝キ

　　②⑴＝ク　⑵＝ア　⑶＝ウ　⑷＝カ

３　①＝ウ　②＝イ

４　①＝ア　②＝エ　③＝ウ　④＝ウ

５　①＝ア　②＝ウ　③＝ウ

ポイント

２　①⑴牛耳を執る＝「牛耳る」に同じ。支配して思いのままに動かす。

　　　⑵勘定合って銭足らず＝理論と実践が一致しないことのたとえ。

　　　⑶心頭減却すれば火もまた涼し＝どんな苦難も、それを超越した境地に至れば苦難と感じなくなること。

　　　⑷木で鼻をくくる＝無愛想にふるまうこと。

　　ア　弱肉強食 　イ　馬耳東風 　ウ　謹厳実直　 エ　風林火山

　　オ　一心同体 　カ　一紙半銭 　キ　一木一草　 ク　傲岸不遜

　　②⑴労多くして功少なし＝苦労した割には得るものが少ない。

　　　⑵後生畏るベし＝後から生まれてくる（若い）人は可能性を秘めているので、畏敬すべきだ。

　　　⑶前門の虎後門の狼＝一つの災難を逃れても、別の災難にあう。

　　　⑷恒産なきものは恒心なし＝定まった財産や職業がなければ、安定した正しい心を保つことはできない。

　　ア　起死回生 　イ　温故知新 　ウ　虎視眈々　 エ　一世一代

　　オ　竜頭蛇尾 　カ　一意専心 　キ　富国強兵　 ク　年功序列

３　①ア　完了・存続の助動詞「り」の終止形。

　　　イ　推定の助動詞「なり」の一部。

　　　ウ　推定の助動詞「めり」の一部。

　　　エ　過去の助動詞「けり」の一部。

　　②ウのみ、サ変動詞「す」の終止形。ほかはすべて使役の助動詞「す」。

　　③「なめり」の「な」は断定の助動詞「なり」の連体形が撥音便無表記となったもの。

　　　ア　ナ変動詞「いぬ（往ぬ・去ぬ）」の未然形活用語尾。

　　　イ　強意の助動詞「ぬ」の未然形。

　　　エ　係助詞「なむ」の一部。